平成 26 年度（公財）松山観光コンベンション協会

事　業　報　告

Ⅰ．事業概要

平成２６年度は、当協会が「公益財団法人」としての３年目となり、公益財団法人としての使命と社会的責任を一層自覚し、より高い公益性を発揮しながら、まちの魅力である「光」を発信し、観光・物産・コンベンションの振興を図り、松山市・愛媛県の経済活性化により一層努めることを目標に活動を実施しました。

観光面におきましては、節目となる３つの記念の年を意識し、「道後温泉本館改築１２０周年」および「道後オンセナート２０１４」、「瀬戸内しまのわ２０１４」など、県内外の様々な方面に Facebook 等を活用して、最新の観光情報の発信に努めました。また、松山神輿を基軸とし、松山ならではの伝統文化を全国に発信していく「大神輿総練」をさらに魅力溢れる内容に発展させていくために協力したほか、松山マドンナ大使による観光ＰＲ活動や、観光客の受け入れとして「観光ボランティアガイド」によるおもてなしの心を持った主要観光施設（松山城・道後温泉）などの案内を行いました。

物産面におきましては、初の試みとして三軒茶屋商店街（東京都世田谷区）のイベント広場においてミニ物産展を開催するとともに、札幌の東急百貨店においては、１６回目となる「物産と観光展」を実施いたしました。また、松山ブランドを推進しつつ、「食」の充実を図るための飲食店ＭＡＰの作成、ホームページ上において全国に向け松山の特産品等の情報発信及び販路の拡大を図りました。

コンベンション事業におきましては、７都市情報懇談会に参加しコンベンション主催者に有意義な誘致活動を行うとともに松山の魅力ＰＲに努めたほか、県外での誘致活動においては、ターゲットを絞り、より効率的な誘致および情報提供を行いました。さらに、キーパーソンを招聘するなど、都市間競争に負けないように活動を強化しました。

また、国際交流事業として台湾において観光キャンペーン及び物産ＰＲ事業を開催したほか、市政府関係等の招聘などを実施し海外からの誘客に努め、１０月には台北市と松山市が友好交流協定を締結し、今後、観光だけでなくスポーツ、文化、学術等の交流を実施することとなりました。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

Ⅱ．公益目的別事業報告

１．観光・物産振興事業（公益目的事業１）

（１）「おいでんか松山」観光客誘致促進事業

旅行会社が松山市へ観光客を送客する団体及び個人・小人数向けの旅行商品を企画し、新たなパンフレット等を作成して販売促進活動や販売を行う場合、その経費の一部を助成する。また、受注型企画旅行及びＷＥＢ商品を企画・販売し、松山市へ送客を行った業者に対しても助成を実施した。

（業種 50 音順）

＜ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ商品＞

①㈱ｴｲﾁ･ｱｲ･ｴｽ

②宇和島運輸㈱

③㈱近畿日本ﾂｰﾘｽﾄ中国四国中国四国ﾒｲﾄｾﾝﾀｰ

④㈱ｼﾞｪｲﾃｨｰﾋﾞｰ国内旅行企画　西日本事業部

⑤瀬戸内海クルーズ㈱瀬戸内海汽船ﾄﾗﾍﾞﾙｻｰﾋﾞｽ

⑥ﾄｯﾌﾟﾂｱｰ㈱関西国内旅行ｾﾝﾀｰ

⑦ﾄｯﾌﾟﾂｱｰ㈱九州国内旅行ｾﾝﾀｰ

⑧㈱日本旅行赤い風船西日本事業部

⑨㈱日本旅行赤い風船西日本事業部広島企画ｾﾝﾀｰ

⑩㈱農協観光愛媛支店　　⑪㈱ﾌｼﾞﾄﾗﾍﾞﾙｻｰﾋﾞｽ（11 業者）

販売店舗数　延べ　13,275 店／印刷部数　814,400 部

〔参考〕	平成 25 年度送客実績	２５，２７０名

＜受注型企画旅行＞

①㈱農協観光石川支店

②㈱農協観光青森支店

③ながさき西海農業協同組合（JA ながさき西海旅行ｾﾝﾀｰ）

④ｷｮｰｴｰﾂｰﾘｽﾄ

＜ＷＥＢ商品＞

①楽天㈱

②㈱ﾘｸﾙｰﾄﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ

③㈱ｲｰｳｪﾙ

（２）松山マドンナ大使関連事業

2014 年度 松山ﾏﾄﾞﾝﾅ大使

2014 年度　松山マドンナ大使関係事業

委嘱式　　平成 26 年 4 月 1 日（火）

派遣件数　　６５件（延べ人数　１７９名）

2015 年度　松山マドンナ大使選考会

期　　日　　平成 26 年 12 月 13 日（土）

応 募 者　　３９名

場　　所　　松山市総合コミュニティセンター

（３）観光ＰＲ事業（新聞・テレビ・雑誌等によるＰＲおよびイベント）

①　広告宣伝関連

ア　週刊「観光経済新聞」掲載観光広告 外

イ　愛媛ＦＣ及び愛媛マンダリンパイレーツの試合会場への広告掲載

ウ　愛媛マラソン手荷物預り袋への広告

②　イベント関連

ア　大神輿総練

期　　日　　平成 26 年 9 月 28 日（日）

場　　所　　城山公園（松山市堀之内）

内　　容　　市内の神輿による「かき比べ」を行うことで、松山市の伝統文化である松山の神輿を全国にＰＲし、松山の魅力を発信する事業に協力した。
今回は、神輿２９基が参加したほか、水軍太鼓の演奏、野球サンバの踊り、「琉球国祭り太鼓」の演奏、獅子舞の演舞などが披露された。また、大洲の鉄砲隊が初めて参加し、オープニングを飾るとともに、北条風早だんじりが初参加し会場を賑やかせた。松山市外からは、宇和島の「牛鬼」が２体と、昨年に引き続き新居浜の太鼓台が力溢れるパフォーマンスを披露した。さらに新たな魅力創出として、本市をはじめとする県下７市町による観光物産展を開催し、当日は市民・観光客など延べ約６万５千人の来場を数え、盛大に開催することができた。

松山神輿29基、だんじり1台、太鼓台1台、牛鬼2体によるかき比べ

県下市町観光物産ＰＲ

大洲鉄砲隊

水軍太鼓

獅子舞

神輿のパフォーマンス

風早だんじり

宇和島牛鬼

新居浜太鼓台

（４）観光キャンペーン事業

①　松山 DAY　in　神宮球場　観光キャンペーン

期　　日　　平成 26 年 7 月 26 日(土)

場　　所　　神宮球場

内　　容　「東京ヤクルトスワローズ　ＶＳ　横浜ＤｅＮＡ　ベイスターズ」

・ｶﾗｰﾋﾞｼﾞｮﾝによる PR（試合開始前､3 回裏終了､4 回裏終了､5 回裏終了）

・のぼりの設置、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示、ラッキープレゼントの実施、両軍選手代表への花束・記念品贈呈、球団への記念品贈呈、選手への差し入れ、松山市長による始球式、観光パンフレット等ノベルティの配布（1,200 名）を実施した。

始球式

セレモニー

ノベルティ配布

のぼり等

②　台湾・台北市観光キャンペーン

期　　日　　平成 26 年 10 月 9 日(木)～14 日（火）

場　　所　　新北投温泉駅前広場

内　　容　　2014 台北温泉まつりおよび松山慈祐宮における式典に参加。

台北松山空港～愛媛松山空港のチャーター便１周年、道後温泉幸福からくり時計リニューアル、松山駅友好協定１周年を記念した各事業が行われたほか、例年どおり「台北温泉まつり」へブースを出展し松山の観光ＰＲとチャリティ事業として物産販売を実施し、台湾からの誘客促進並びに松山市と台湾・台北市との友好交流拡大を図った。また、今年は台湾側から松山の子供相撲が招聘され、台湾の子供たちと相撲イベントを行ったほか、お祝いとして「めでたや」による餅つきを行い台湾の人たちに搗き立てのお餅をふるまった。さらに、台湾関係者との交流会を実施した。

開会式

パレード

子供相撲

ＰＲブース

台北松山駅

調印式

松山慈祐宮

観光ＰＲ

交流会

レセプション

めでたや

餅つき

（５）物産と観光展事業

①　松山の物産と観光展（札幌）

期　　日　　平成 27 年 2 月 19 日(木)～2 月 25 日(水)

場　　所　　札幌市（さっぽろ東急百貨店）

内　　容

（１）物産展―本市が誇る選りすぐりの食品３０店舗、工芸品７店舗が出店。松山港町のソウルフード「三津浜焼き」が初出店。

（２）観光展―観光パンフや各種リーフレットを来場者に配布。松山発のオリジナルアニメ「マッツとヤンマとモブリさん」のパネル展示や俳都松山にちなんで北海道初出張の「俳句ポスト」を設置。

（３）特別企画―蛇口から出る「みかんジュース」を１００名限定で提供。ゆるキャラグランプリ 2014 第 3 位の「みきゃん」との撮影会を実施。まつやま農林水産物ブランドの「せとか」や愛媛県のオリジナル品種「甘平」を数量限定で販売。

（４）表敬訪問等―開催に伴い札幌市をはじめ関係団体、旅行会社を表敬訪問。

（５）宣伝ＰＲ―開催期間中、適宜街頭宣伝を行うとともに、テレビ出演を通してイベント告知を行った。

表敬訪問

開展式

俳句コーナー

砥部焼絵付け体験

街頭宣伝

ポンジュース蛇口

会場内

観光コーナー

② 松山の物産と観光展（首都圏）

期　　日　　平成 27 年 3 月 7 日(土)～8 日（日）

場　　所　　三軒茶屋ふれあい広場（東京都世田谷区）

内　　容

（1）観光 PR―観光コーナーを開設し、松山マドンナ大使による観光パンフレットの配布や、観光バナー等で主要な観光施設を紹介し、松山の魅力をＰＲした。おもてなし企画として松山味噌汁やいよかんを提供（各日 150 名）した。

（2）ミニ物産展―参加業者３社

・(有）マキノ海産→瀬戸の干物、丸干し、ちりめん、瀬戸の珍味

・(株）後藤商店→松山みそ（合わせ麦)、いりこ味噌、ひしお　ほか

・平成船手組→三津浜焼き

会　場

松山味噌汁をふるまうマドンナ

観光ＰＲを行うマドンナ

マキノ海産

後藤商店

平成船手組

（６）パンフレット等の作成頒布事業

① 指差観光案内パンフレット（英語、繁体字版）　各 8,000 枚

② 指差観光案内パンフレット（韓国語、簡体字版）　各 4,000 枚

③ 松山城　600 冊

④ 瀬戸のまつやま「海ごはん」ＭＡＰ　10,000 枚

（７）案内所運営事業

① 松山城東雲口駅舎１階案内所

② 道後観光案内所（委託業務）

③ JR 松山駅松山市観光案内所(委託業務)

④ 松山観光港ターミナル観光案内所(委託業務)

観光案内業務	件　数	67,282	件
松山観光レンタサイクル事業(道後観光案内所)	件　数	1,380	件
松山観光レンタサイクル事業(松山城東雲口駅舎１階)	件　数	871	件

（８）松山観光ボランティアガイド事業

①　ボランティア活動報告

●登録者数　　１６４名

1. 案内コース	道後周辺	松山城
2. 案内日	毎日（年末年始除く）	毎日（年末年始除く）
3. 案内時間	9:00～12:00	9:00～12:00
	13:30～16:00（土日祝のみ）	13:00～16:00
4. ガイド人数	平日　　２名	平日　　４名
	土日祝　４名	土日祝　１０名
5. 案内件数	1,927 件	4,071 件
6. 案内人員	6,349 人	15,644 人

1. 案内コース	坂の上の雲ﾐｭｰｼﾞｱﾑ周辺	伊予灘ものがたり （新規・平成 26 年 8 月から実施）
2. 案内日	土日祝（年末年始除く）	土日祝（年末年始除く）
3. 案内時間	9:30～12:30	
	13:00～16:00	12:30～15：30
4. ガイド人数	平日　　２名	松山城　１名
	土日祝　６名	道　後　１名
5. 案内件数	1,666 件	松山城 9 件　道後 3 件
6. 案内人員	3,870 人	松山城 22 人　道後 16 人

②　ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾　～松山観光文化コンシェルジェ講座～

主　　催　　松山商工会議所・松山大学・(一社)愛媛県観光物産協会・松山市
　　(公財)松山観光コンベンション協会

開講期間　　平成 26 年 10 月 3 日(金)～平成 26 年 12 月 19 日(金)　　(全 15 回)

場　　所　　松山大学　(松山市文京町 4-2)

受 講 者　　一般　９４名・大学生　１１０名　　計２０４名

２．コンベンション事業（公益目的事業２）

（１）誘致促進事業

①　誘致セールス活動の実施

松山市において開催可能性のあるコンベンションの主催者を対象に、県外では主に東京方面での誘致宣伝活動を実施した。

また、松山市内外にある地元主催者への誘致宣伝活動を積極的に実施した。

（詳細は別紙資料３参照）

首都圏：　１５６団体

県　内：　　６３団体

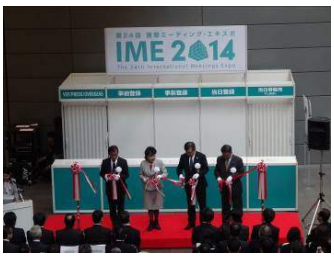
②　第２４回国際ミーティング・エキスポ（ＩＭＥ２０１４の参加（出展））

会　期　　平成 26 年 12 月 9 日（火）～10 日（水）

会　場　　東京国際フォーラム（東京都有楽町）

主　催　　観光庁、日本政府観光局（ＪＮＴＯ）
日本コングレス・コンベンション・ビューロー（ＪＣＣＢ）

概　要　　コンベンション主催者とコンベンション受入側（都市・コンベンションビューロー等関係団体）が一堂に会し、コンベンション開催に関する情報や商談を行う、我が国唯一のコンベンション・トレードショーで、出展者数は１４７団体、入場者数は約３，４００人だった。
昨年に引き続き、高松、徳島と協同でブース設営をし、インパクトのある写真をバックパネルに取り入れ、「四国」を全面に押し出した中、松山ブースにおいては、コンベンション支援パンフレットや主要コンベンション施設ガイドの他、松山市を中心とした愛媛県内の観光パンフレットを配布し、松山をＰＲした。
また、松山銘菓「タルト」・「坊っちゃん団子」や愛媛の地酒の他、愛媛県産の柑橘を使用した５種類のジュースの展示配布を行い、主催者により一層松山を印象付けながら、コンベンション誘致活動を積極的に行った。



開会式

ブース風景

商談風景

③　誘致懇談会の開催

ア　中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進機関１４団体で構成する協議会であり、相互に交流し、ＩＭＥにおける共同装飾など中四国地区としての魅力向上を図るための事業。

・中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催

開催日　　平成 26 年 7 月 17 日（木）～18 日（金）

会　場　　海峡メッセ下関（下関市）
出席者　　１３団体２８名

イ　７都市情報交換会事業

全国を７ブロックに分け、各ブロックから１コンベンション関連団体が参加して構成する会であり、相互に情報交換を実施するとともに、年に１度、東京で主催者を集めての懇談会を実施。

・７都市情報交換会（５回開催）

開催日及び場所　①平成 26 年 5 月 15 日（木）　大阪府難波市民学習センター
②平成 26 年 10 月 29 日（水）　くまもと県民交流館パレア
③平成 26 年 12 月 8 日（月）　桃杏樓
④平成 27 年 1 月 20 日（火）　さがみ数寄屋橋本店
⑤平成 27 年 3 月 19 日（木）　雪の美術館

・７都市情報懇談会の開催

開催日　　平成 27 年 1 月 21 日（水）
会　場　　東京會舘
東京都千代田区丸の内 3-2-1
主　催　　７都市情報交換会
概　要　　コンベンション主催者約３０名と７都市情報交換会の関係者約５０名の合計８０名が一堂に会し、コンベンションに関する情報の交換を行い、７都市でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了した。

お楽しみ抽選会

商談風景

会場内様子

④　海外からの誘致促進事業

ア　台湾招聘事業

・台湾台北市政府招聘

日時　　平成 26 年 4 月 8 日（火）～4 月 11 日（金）
内容　　台北市政府観光傳播局、台北市温泉発展協会関係者を、道後温泉本館改築 120 周年記念式典に招聘。テープカットをしていただくとともに、交流会に参加していただき市長はじめ関係者と交流を図った。また、市内小学校において土俵を見学し、小学生相撲の交流大会の検討を行った。

テープカット

交流会

オンセナート視察

土俵視察

・嘉義市政府関係等招聘

日時　　平成 26 年 10 月 5 日（日）～7 日（火）

内容　　近藤兵太郎氏の功績を称えるとともに、「野球王国　愛媛　松山」の次世代を担う子どもたちに継承していくため、台湾からのご来賓の方にもご出席いただき「近藤兵太郎氏顕彰セレモニー」を実施するとともに歓迎レセプションを開催。松山秋祭りの視察を行った。

歓迎レセプション

モニュメント除幕式

記念レセプション

秋祭り視察

（２）開催支援事業

①　開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し交付した。

交付件数　　47 件（平成 25 年度：41 件）

交付総額　22,600,000 円（平成 25 年度：15,590,000 円）

（詳細は別紙資料４参照）

②　歓迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（参加者１，０００人以上が原則条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し当地の良いイメージを持っていただき、来松のリピート効果を上げるために実施した。

掲出実績　　松山空港ビル　１４件（詳細は別紙資料４参照）

③　支援グッズの作成

・「ようおいでたなもし‘１４～１５」（愛媛・松山観光ガイド）の発行

アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩きＭＡＰと文化観光施設等割引入場券を一緒にした形で発行。コンベンション参加者に提供した。

発行部数　　４０，０００部

・ナイロン製アームバッグの作成
　コンベンション参加者の支援用として作成配布した。
　作成枚数　　６０，０００部

④　サポートスタッフの派遣

コンベンションボランティア（会議時における受付・クローク、通訳等）をコンベンション開催時に派遣した。

＜派遣実績＞

・年間４件（延べ人数５６人）

⑤　その他

・えひめコンベンション施設ガイドの提供
誘致用パンフレットとして、コンベンション主催者に提供した。
　提供部数　　約　５００部

（３）調査・研究事業

①　経済波及効果調査

・平成２５年度コンベンション統計の作成
平成２５年度に県内で開催されたコンベンションの件数･人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。
〈概要〉　コンベンション客　　１，５２６，４８５人（平成 24 年度：1,235,300 人）
　　推定消費額　　８２億円（平成 24 年度：81 億円）

②　コンベンション調査

ア　平成２６年度コンベンションカレンダーの発行
平成２６年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員並びに大学関係者等に配布した。（発行部数：２，０００部）

イ　アンケート調査の実施
コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、経済波及効果測定等の基礎資料とした。

ウ　コンベンションビューロー部会
ＪＣＣＢ会員（７部会１２２会員）のうち、コンベンションビューローの会員（７４団体）で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。

・第１回コンベンションビューロー部会出席
　開催日　　平成 26 年 5 月 15 日（木）～5 月 16 日（金）
　会　場　　大阪市
　出席者　　４６団体７１名

・第２回コンベンションビューロー部会出席

開催日　　平成 26 年 10 月 29 日（水）～10 月 30 日（木）

会　場　　熊本市

出席者　　４４団体６８名

エ　平成 26 年度ＪＣＣＢ総会

開催日　　平成 26 年 6 月 16 日（月）

会　場　　京王プラザホテル

オ　四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会出席

四国地区のコンベンション推進５団体（高松、徳島、鳴門、高知、松山）で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

＜第１回＞

開催日　　平成 26 年 7 月 11 日（金）

会　場　　高松市

＜第２回＞

開催日　　平成 27 年 2 月 25 日（水）

会　場　　徳島市

③　管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を管理し、効率的な誘致・支援につなげるためのシステム運用

・支援を行った大会等

支援件数　　１６０件（平成 25 年度：１４６件）

資料配付数年度　７６，９４５部（平成 25 年度：５６，４２０部）

（詳細は別紙資料４参照）

Ⅲ．収益事業報告

１．広告料収入事業

（１）松山城ロープウェイ駅舎３階壁面広告

広告期間　　平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　10業者

（２）物産陳列ケース広告

展示期間　　平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
展示業者　　２２業者

（３）松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間　　平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　８業者

（４）（公財）松山観光コンベンション協会ホームページバナー広告

広告期間　　平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
広告掲載業者　　15業者

（５）松山特産品ホームページショッピングサイト

ホームページ掲載業者　　１０業者　　出品数　２６品　　注文件数　１件

２．手数料収入事業

（１）案内所での記念グッズ販売による手数料

佐川印刷㈱絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	114	冊
佐川印刷㈱自動販売機（ｽﾄﾗｯﾌﾟ・ﾌﾞｯｸﾏｰｶｰ）販売	販売数	540	個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	6	冊
㈱エス・ピー・シー書籍販売	販売数	7	冊
㈱エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	838	個
松山はいくチケット販売	販売数	69	枚
㈱学校図書ＣＤブック販売	販売数	2	冊

（２）自動販売機での飲料販売による手数料

設置業者　　大塚製薬㈱・四国乳業㈱・四国コカ・コーラボトリング㈱・
　　ダイドービバレッジサービス㈱

売上本数　　２４，９４０本

（３）記念メダル販売による手数料

①松山城メダル

メダル等販売数　１０，９４２個

刻印機利用数　　２，１２０回

②道後温泉メダル

メダル等販売数　　１，２１０個

刻印機利用数　　３３０回

３．販売収入事業

（１）名刺台紙販売

販売数　　２７５個

（２）図書販売

販売数　　１，３９８冊

（３）ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数　　５０３枚

松山城ハンドタオル販売数　　５４枚

（４）オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数　　１４５個

紙袋販売数　　４，７８２枚

オリジナルキャップ販売数　　５個

オリジナルボールペン　　２本

Ⅳ．その他管理事業等

１．機関紙作成

年２回各４，０００部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

２．ホームページ及び電子パンフレット運営業務

〔参考〕ユーザー訪問(ﾍﾟｰｼﾞﾋﾞｭｰ)数　約　７２０，０７３件

３．新規会員の確保

新規加入　　１４件
会　　員　　４１０件(3 月 31 日現在)

４．会議開催

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会（企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会）を必要に応じ適宜開催した。

（１）理事会

内容については別紙資料１

①期　　日　　平成 26 年 4 月 1 日(火)　　※　決議の省略
②期　　日　　平成 26 年 5 月 19 日(月)
　場　　所　　いよてつ会館
③期　　日　　平成 26 年 6 月 3 日(火)　　※　決議の省略
④期　　日　　平成 26 年 9 月 25 日（木）　※　決議の省略
⑤期　　日　　平成 26 年 12 月 8 日（月）　※　決議の省略
⑥期　　日　　平成 27 年 3 月 27 日（金）
　場　　所　　松山全日空ホテル

（２）評議員会

内容については別紙資料１

①期　　日　　平成 26 年 4 月 1 日(火)　※　決議の省略
②期　　日　　平成 26 年 6 月 3 日(火)
　場　　所　　松山ワシントンホテルプラザ

（３）各専門委員会

内容については別紙資料２

①企画開発委員会

期　　日　　平成 26 年 9 月 16 日（火）

場　　所　　KH 三番町プレイス　３階　第１会議室

②誘客促進委員会

期　　日　　平成 26 年 9 月 17 日（水）

場　　所　　KH 三番町プレイス　３階　第１会議室

③観光物産振興委員会

期　　日　　平成 26 年 9 月 18 日（木）

場　　所　　KH 三番町プレイス　３階　第１会議室

５．共催・協賛事業

（１）第１２回ＪＡＢＡ子規記念杯野球大会

期　　日　　平成 26 年 4 月 26 日（土）～27 日（日）

主　　催　　愛媛県野球連盟・毎日新聞社松山支局

（２）第４４回奥道後皐月展

期　　日　　平成 26 年 5 月 17 日（土）～6 月 8 日（日）

主　　催　　愛媛皐月協会

（３）第６４回松山港まつり・三津浜花火大会

期　　日　　平成 26 年 8 月 3 日(日)

主　　催　　松山港まつり振興会

（４）　いもたき事業（共催事業）

・出合橋下河川敷

期　　日　　平成 26 年 9 月 6 日(土)～10 月 13 日（月）

主　　催　　観光松山いも炊き会

参 加 者　　7,876 名

（５）「松山を楽しもうｷｬﾝﾍﾟｰﾝ～城山公園ｵｰﾀﾑﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ 2014」（共催事業）

期　　日　　平成 26 年 9 月～11 月

主　　催　　城山公園オータムフェスティバル 2014 実行委員会

（６）第４６回奥道後大菊花展

期　　日　　平成 26 年 10 月 25 日（土）～11 月 24 日（月・祝）

主　　催　　西日本菊花芸術協会

（７）松山城「お正月」イベント（共催事業）

期　　日　　平成 27 年 1 月 1 日（木・祝）

主　　催　　松山市、伊予鉄道（株）松山城総合事務所

（８）坊っちゃんカップ・第８回道後温泉卓球大会（共催事業）

期　　日　　平成 27 年 1 月 27 日（火）～29 日（木）

主　　催　　公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

（９）愛媛調理製菓専門学校「料理作品展２０１５」（協賛事業）

期　　日　　平成 27 年 2 月 1 日（日）

主　　催　　学校法人愛媛学園　愛媛調理製菓専門学校

(10）第５３回愛媛マラソン

期　　日　　平成 27 年 2 月 7 日（土）～8 日（日）

主　　催　　愛媛陸上競技協会、南海放送、愛媛新聞社、松山市

(11）第９回まつやま農林水産まつり（協賛事業）

期　　日　　平成 27 年 2 月 14 日(土)～15 日（日）

主　　催　　まつやま農林水産まつり実行委員会

貸借対照表

平成27年3月31日現在

一般会計　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	38,383,456	39,242,823	△ 859,367
未収金	46,576,021	43,227,284	3,348,737
過払金返金	0	32,392	△ 32,392
棚卸資産	1,997,091	0	1,997,091
流動資産合計	86,956,568	82,502,499	4,454,069
２．固定資産			0
(1) 基本財産			0
基財・預金債権	321,000,000	321,000,000	0
投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(2) 特定資産			0
退職給与引当預金	3,553,761	3,553,761	0
特定資産合計	3,553,761	3,553,761	0
(3) その他固定資産			0
電話加入権	149,968	149,968	0
什器備品	40,221	53,627	△ 13,406
その他固定資産合計	190,189	203,595	△ 13,406
固定資産合計	524,743,950	524,757,356	△ 13,406
資産合計	611,700,518	607,259,855	4,440,663
Ⅱ　負債の部			0
１．流動負債			0
未払金	56,059,394	52,688,807	3,370,587
流動負債合計	56,059,394	52,688,807	3,370,587
２．固定負債			0
退職給付引当金	31,094,359	27,807,601	3,286,758
固定負債合計	31,094,359	27,807,601	3,286,758
負債合計	87,153,753	80,496,408	6,657,345
Ⅲ　正味財産の部			0
１．基金	0	0	0
基金	0	0	0
２．指定正味財産			0
指定正味財産合計	0	0	0
３．一般正味財産			0
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	524,546,765	526,763,447	△ 2,216,682
一般正味財産合計	524,546,765	526,763,447	△ 2,216,682
正味財産合計	524,546,765	526,763,447	△ 2,216,682
負債及び正味財産合計	611,700,518	607,259,855	4,440,663

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	1,215,927	1,223,500	△ 7,573
基本財産利息収入	1,215,927	1,223,500	△ 7,573
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取入会金収入	0	0	0
受取会費	12,335,000	12,415,000	△ 80,000
賛助会員会費収入	12,335,000	12,415,000	△ 80,000
事業収益	8,525,749	7,861,792	663,957
広告料収入	1,649,880	1,529,800	120,080
手数料収入	1,919,826	1,819,246	100,580
販売収入	1,960,006	1,557,703	402,303
観光PR事業収入	757,200	694,600	62,600
物産と観光展手数料収入	2,238,837	2,260,443	△ 21,606
受取補助金等	197,634,000	165,220,000	32,414,000
市補助金等収入	197,634,000	165,220,000	32,414,000
受取負担金	1,000,000	1,000,000	0
負担金収入	1,000,000	1,000,000	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金収入	0	0	0
雑収益	210,145	229,752	△ 19,607
受取利息	15,543	14,994	549
雇用保険料預り金	194,602	214,758	△ 20,156
経常収益計	220,920,821	187,950,044	32,970,777
（2）経常費用			0
事業費	194,364,047	168,345,368	26,018,679
報酬	567,903	593,022	△ 25,119
給料手当	24,480,113	27,181,462	△ 2,701,349
退職給付費用	1,301,586	504,815	796,771
福利厚生費	8,188,137	8,228,827	△ 40,690
臨時雇賃金	4,303,828	3,685,074	618,754
会議費	2,964,702	3,965,333	△ 1,000,631
旅費交通費	19,537,243	16,938,340	2,598,903
通信運搬費	6,651,475	7,785,200	△ 1,133,725

什器備品減価償却費	13,406	17,875	△ 4,469
消耗品費	17,264,895	13,079,866	4,185,029
印刷製本費	9,427,846	6,643,105	2,784,741
諸謝金	9,475,294	8,255,617	1,219,677
報償費	600,000	600,000	0
委託費	32,560,767	30,825,170	1,735,597
負担金支出	1,141,988	1,296,815	△ 154,827
広告宣伝費	11,710,300	7,178,675	4,531,625
賃借料	7,853,993	6,242,326	1,611,667
修繕費	17,712	206,825	△ 189,113
保険料	904,780	375,680	529,100
燃料費	0	0	0
光熱水料費	69,801	65,264	4,537
助成金支出	33,800,772	24,403,800	9,396,972
調査研究費	0	0	0
雑費	227,778	272,277	△ 44,499
期首棚卸高	2,966,389	0	2,966,389
期末棚卸高	△ 1,666,661	0	△ 1,666,661
管理費	31,739,845	30,345,731	1,394,114
役員報酬	3,800,082	3,612,788	187,294
給料手当	14,239,421	13,334,285	905,136
福利厚生費	3,600,141	3,408,942	191,199
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	1,985,172	2,386,283	△ 401,111
会議費	227,033	159,628	67,405
旅費交通費	0	0	0
交際費	0	10,000	△ 10,000
通信運搬費	1,693,468	1,684,179	9,289
消耗品費	1,712,973	1,743,882	△ 30,909
印刷製本費	535,680	499,800	35,880
諸謝金	100,000	0	100,000
委託費	663,768	651,945	11,823
負担金支出	554,550	608,450	△ 53,900
賃借料	1,430,279	985,618	444,661
修繕費	50,112	147,735	△ 97,623
保険料	155,240	57,540	97,700
燃料費	248,743	171,110	77,633
光熱水料費	564,833	555,646	9,187
租税公課	178,350	327,900	△ 149,550
減価償却費	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
支払利息	0	0	0

有価証券運用損	0	0	0
雑費（予備費含まない）	0	0	0
経常費用計	226,103,892	198,691,099	27,412,793
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,183,071	△ 10,741,055	5,557,984
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,183,071	△ 10,741,055	5,557,984
２．経常外増減の部			
（1）経常外収益			
過年度損益修正益	2,966,389	0	2,966,389
雑収益	0	0	0
経常外収益計	2,966,389	0	2,966,389
（2）経常外費用			
退職給付費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,966,389	0	2,966,389
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,216,682	△ 10,741,055	8,524,373
一般正味財産期首残高	526,763,447	537,504,502	△ 10,741,055
一般正味財産期末残高	524,546,765	526,763,447	△ 2,216,682
Ⅱ　指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	524,546,765	526,763,447	△ 2,216,682

平成26年度正味財産増減計算書（内訳表）

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1（観光・物産）	公2（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	共通	小計	収1（販売等）	共通	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
1．経常増減の部										
（1）経常収益										
基本財産運用益	0	0	1,215,927	1,215,927	0	0	0	0	0	1,215,927
基本財産利息収入			1,215,927	1,215,927			0			1,215,927
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金収入				0			0			0
受取会費	0	0	12,335,000	12,335,000	0	0	0	0	0	12,335,000
賛助会員会費収入			12,335,000	12,335,000			0	0		12,335,000
事業収益	2,996,037	590,500	0	3,586,537	4,939,212	0	4,939,212	0	0	8,525,749
広告料収入				0	1,649,880		1,649,880			1,649,880
手数料収入				0	1,919,826		1,919,826			1,919,826
販売収入		590,500		590,500	1,369,506		1,369,506			1,960,006
観光PR事業収入	757,200			757,200			0			757,200
物産と観光展手数料収入	2,238,837			2,238,837			0			2,238,837
受取補助金等	108,418,000	54,074,000	0	162,492,000	0	0	0	35,142,000	0	197,634,000
市補助金等収入	108,418,000	54,074,000		162,492,000			0	35,142,000		197,634,000
受取負担金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
負担金収入			1,000,000	1,000,000			0			1,000,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	0	0	15,543	15,543	0	0	0	194,602	0	210,145
受取利息			15,543	15,543			0			15,543
雇用保険料預り金				0			0	194,602		194,602
経常収益計	111,414,037	54,664,500	14,566,470	180,645,007	4,939,212	0	4,939,212	35,336,602	0	220,920,821
（2）経常費用										
事業費	132,399,029	52,398,518	4,245,552	189,043,099	5,320,948	0	5,320,948		0	194,364,047
報酬			567,903	567,903			0			567,903
給料手当	12,590,965	10,131,743	1,757,405	24,480,113			0			24,480,113
退職給付費用	835,148	466,438		1,301,586			0			1,301,586
福利厚生費	3,248,225	2,633,666	1,920,244	7,802,135	386,002		386,002			8,188,137
臨時雇賃金	1,469,939			1,469,939	2,833,889		2,833,889			4,303,828
会議費	2,227,496	737,206		2,964,702			0			2,964,702
旅費交通費	14,815,493	4,721,750		19,537,243			0			19,537,243
通信運搬費	6,379,135	272,340		6,651,475			0			6,651,475
什器備品減価償却費				0	13,406		13,406			13,406
消耗品費	12,769,803	4,393,269		17,163,072	101,823		101,823			17,264,895
印刷製本費	5,673,274	3,732,810		9,406,084	21,762		21,762			9,427,846
諸謝金	9,063,930	411,364		9,475,294			0			9,475,294
報償費	600,000			600,000			0			600,000
委託費	31,168,487	1,392,280		32,560,767			0			32,560,767
負担金支出	333,000	808,988		1,141,988			0			1,141,988
広告宣伝費	11,656,300	54,000		11,710,300			0			11,710,300
賃借料	7,263,768	13,400		7,277,168	576,825		576,825			7,853,993
修繕費				0	17,712		17,712			17,712
保険料	885,460	19,320		904,780			0			904,780
燃料費				0			0			0
光熱水料費				0	69,801		69,801			69,801
助成金支出	11,200,772	22,600,000		33,800,772			0			33,800,772
調査研究費				0			0			0
雑費	217,834	9,944		227,778			0			227,778
期首棚卸高				0	2,966,389		2,966,389			2,966,389
期末棚卸高				0	△ 1,666,661		△ 1,666,661			△ 1,666,661

科　目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1（観光・物産）	公2（ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ）	共通	小計	収1（販売等）	共通	小計			
管理費								31,739,845	0	31,739,845
役員報酬								3,800,082		3,800,082
給料手当								14,239,421		14,239,421
福利厚生費								3,600,141		3,600,141
臨時雇賃金										0
退職給付費用								1,985,172		1,985,172
会議費								227,033		227,033
旅費交通費										0
交際費										0
通信運搬費								1,693,468		1,693,468
消耗品費								1,712,973		1,712,973
印刷製本費								535,680		535,680
諸謝金								100,000		100,000
委託費								663,768		663,768
負担金支出								554,550		554,550
賃借料								1,430,279		1,430,279
修繕費								50,112		50,112
保険料								155,240		155,240
燃料費								248,743		248,743
光熱水料費								564,833		564,833
租税公課								178,350		178,350
減価償却費										0
支払寄付金										0
支払利息										0
有価証券運用損										0
雑費（予備費含まない）										0
経常費用計	132,399,029	52,398,518	4,245,552	189,043,099	5,320,948	0	5,320,948	31,739,845	0	226,103,892
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,984,992	2,265,982	10,320,918	△ 8,398,092	△ 381,736	0	△ 381,736	3,596,757	0	△ 5,183,071
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 20,984,992	2,265,982	10,320,918	△ 8,398,092	△ 381,736	0	△ 381,736	3,596,757	0	△ 5,183,071
2. 経常外増減の部							0			
（1）経常外収益							0			
過年度損益修正益				0	2,966,389		2,966,389			2,966,389
雑収益				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	2,966,389	0	2,966,389	0	0	2,966,389
（2）経常外費用							0			
退職給付費用				0			0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0		0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	2,966,389	0	2,966,389	0	0	2,966,389
他会計振替額			857,869	857,869		△ 857,869	△ 857,869			0
当期一般正味財産増減額	△ 20,984,992	2,265,982	11,178,787	△ 7,540,223	2,584,653	△ 857,869	1,726,784	3,596,757	0	△ 2,216,682
一般正味財産期首残高	△ 14,726,191	△ 20,414,924	556,886,692	521,745,577	2,949,336	△ 268,939	2,680,397	2,337,473		526,763,447
一般正味財産期末残高	△ 35,711,183	△ 18,148,942	568,065,479	514,205,354	5,533,989	△ 1,126,808	4,407,181	5,934,230	0	524,546,765
Ⅱ　指定正味財産増減の部							0			
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0			0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	△ 35,711,183	△ 18,148,942	568,065,479	514,205,354	5,533,989	△ 1,126,808	4,407,181	5,934,230	0	524,546,765

財産目録

平成27年 3月31日現在

一般会計　　（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	つり銭準備金として	130,000
	預金	普通預金	運転資金として	38,253,456
		普通（伊予銀行）		10,168,978
		普通（愛媛銀行）		15,694,160
		普通（愛媛信用金庫）		9,043,042
		普通（県信漁）		489,693
		普通（県信連）		904,684
		普通(預り金)		392,473
		普通(書籍)		331,224
		普通(グッズ精算)		104,792
		普通(メダル)		1,117,029
		普通(物産)		7,381
	未収金			46,576,021
	販売収入			133,960
	手数料収入			50,818
	物産収入			46,391,243
	棚卸資産			1,997,091
流動資産合計				86,956,568
（固定資産）				
基本財産			公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	
	基財・預金債権			321,000,000
	定期（伊予銀行）			10,000,000
	定期（愛媛銀行）			100,000,000
	定期（愛媛信用金庫）			56,000,000
	定期（県信漁）			10,000,000
	定期（伊予銀行）			145,000,000
	投資有価証券			200,000,000
	有価(国債)	利付国債5年 第96回 伊予銀行		200,000,000
特定資産				
	退職給与引当預金			3,553,761
	伊予銀行(普通)			3,553,761
その他固定資産				
	電話加入権		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、管理運営の用に供している。	149,968
	什器備品		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、収益事業の用に供している。	40,221
	収益目的保有財産	松山城ﾛｰﾌﾟｳｪｲ駅舎3階	物産陳列ケース	40,221
固定資産合計				524,743,950
資産合計				611,700,518
（流動負債）				
	未払金			56,059,394
	未払金		公益目的事業等に供する支払	56,059,394
流動負債合計				56,059,394
（固定負債）				
	退職給付引当金			31,094,359
固定負債合計				31,094,359
負債合計				87,153,753
正味財産				524,546,765

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

（1） 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため、償却原価法は採用していない。

（2） 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

※平成26年度より実施

（3） 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。（償却率：0.25）

（4）リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

（5）引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

（6）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基材・預金債権	321,000,000	0	0	321,000,000
投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
小計	521,000,000	0	0	521,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,553,761	0	0	3,553,761
小計	3,553,761	0	0	3,553,761
合計	524,553,761	0	0	524,553,761

3．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基材・預金債権	321,000,000	0	（321,000,000）	（　－）
投資有価証券	200,000,000	0	（200,000,000）	（　－）
小計	521,000,000	0	（521,000,000）	（　－）
特定資産				
退職給付引当資産	3,553,761	0	0	（3,553,761）
小計	3,553,761	0	0	（3,553,761）
合計	524,553,761	0	（521,000,000）	（3,553,761）

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

（単位：円）

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	13,406	506,829	40,221
合計	697,018	13,406	506,829	190,189

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国債	200,000,000	200,920,000	920,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	197,634,000	197,634,000	0	一般正味財産

附 属 明 細 書

１. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

２. 引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。